



Chubu Gakuin Alumni association report

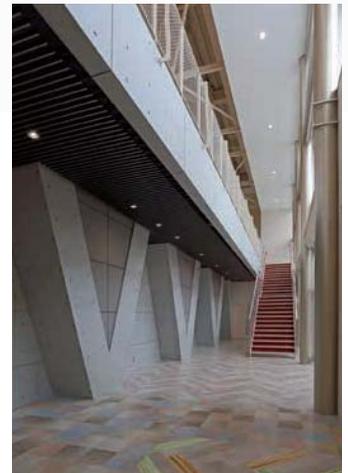
# 中部学院同窓会報 2017



## 躍進する中部学院

### Contents

- 1 大学・短大学長、同窓会長挨拶
- 2 評議員会開催
- 3 短大50周年・大学20周年記念特集 恩師からのメッセージ
- 5 同窓会支部活動・同窓会支部をつくって、同窓会を盛り上げよう！
- 7 同窓生の声
- 8 頑張ってます！同窓生
- 9 トピックス
- 10 進路・就職支援
- 11 ホームカミングデー開催・岐阜済美学院からのお知らせ
- 12 同窓生特別推薦入試・通信教育部 編入学のご案内
- 13 同窓会会則



中部学院大学・中部学院大学短期大学部同窓会

Chubu Gakuin Alumni association



大学学長  
古田 善伯

## 大学の活動内容の認知度を高めるために 同窓会との結束を一層強くしよう

かねてから本学の学生教育の状況を学外の多くの方々に知っていただくためにはどうすればよいのかという思いでいました。そんな中で、東洋経済オンラインがインターネット情報として次のような記事を掲載しました。それは、全国の進学高2000校の進路指導教諭に対してアンケート調査を行い771校から回答を得た結果として、「生徒を伸ばしてくれる大学」ランキング100という一覧表を示しており、その中で中部学院大学が52位にランクされていました。全国の国公立大学の数は約730校あるといわれていますので、52位というのはかなり上位に位置しています。また、中部地域の私立大学の中では本学が1位になっています。これは、高校の先生方が、本学の学生がしっかりと育っていることを認識されている結果であるといえるのではないのでしょうか。この情報は、私たちにとって大変喜ばしい出来事として、記事の内容を本学のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

本学は今年で開学20周年を迎えますが、前述の記事にも示されたように、学外の方々にも本学の活動の様子が認知されてきているといえます。今後は、同窓会との結束を一層強化していき、これまで以上に本学が地域に貢献する大学として、その存在意義を広く伝えていきたいと考えています。



短期大学部学長  
片桐 多恵子

## 50年の歴史ある同窓会への期待

今年は短期大学部創立50周年を迎えています。

創立以来、地域に根ざして発展してきた本学ですが、近年ますます本学への期待は高まっています。それは少子・高齢化に加えて、若者が都会へ流出する中で、卒業生が幼稚園教諭・保育士・介護福祉士として地元で中心的な役割を果たしてくれているからです。在学生たちも地域との連携事業を通して地域活性化に貢献してくれているからです。

地域との関わりの上からも、大学のカリキュラムの中で大切にしているのが実習教育です。実習激励会では、職場の体験を踏まえた卒業生からの言葉が身に染みて在学生に伝わります。『美・デザインコース』はまだ卒業生を輩出していませんが、改善を提案する主体的な実習で就業力をつけています。

教職員と学生の距離は近く、アットホームな雰囲気は今も変わりません。その結果、就職率は幼児教育学科15年連続、社会福祉学科は14年連続100%です。生徒を伸ばしてくれる大学として高校側からも高く評価されています。このように躍進を続けられるのは、安心できるキャンパスだからです。同窓会の寄贈によりグレースホールのステンドグラス「慈愛」は、今日も私たちに愛の光を注いでくれています。

これからも母校への応援、宜しくお願い致します。

## 同窓会長挨拶

中部学院大学・短期大学部同窓会会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃は、中部学院大学・短期大学部同窓会の活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、本年度は大学創立20周年・短期大学部創立50周年、岐阜済美学院に至っては、来年度、創立100周年を迎える年となりました。また今春には大学にスポーツ健康科学部が開設されました。6月10日には学院創立100周年記念事業の1つである、体育館・運動学実習棟竣工記念式典が催され、同窓会代表として副会長と揃って参列致しました。

7月9日には、大学の同窓会室におきまして2017年度の評議員会が開催されました。会の中で、同窓会支部活動の現状について報告があり、認定支部も18を数えるまでになりました。今後も縦の絆、横の絆を紡ぎだして頂き、認定支部を通しての同窓会活動のご参加を期待致します。

今年も「いきいき地域！たのしみん祭」[大学祭]と共に、「ホームカミングデー」が開催されます。先にも申しましたように、今年も創立、大学20周年・短期大学部50周年記念の年でもあります。この記念すべき年に「ホームカミングデーに参加してよかった」と思って頂けるような企画を考えております。

新しい体育館も見学して頂きたく、多数の同窓生が来校して下さることを期待しております。皆様、関キャンパスでお会いしましょう！



同窓会会長  
小池 久

## 2017年度 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 同窓会評議員会を開催しました

7月9日(日)に関キャンパス同窓会室にて2017年度同窓会評議員会を開催しました。

開会に先立ち、古田 善伯大学学長よりご挨拶があり、続いて小池 久同窓会会長が評議員会の開会を宣言し、議事進行に移りました。

評議員会では、事業報告、事業計画、決算報告、予算案などについて事務局から提案され、様々な意見をいただきました。

10月21日に開催予定のホームカミングデーでは、

毎年大好評の「特別講義」を今年も実施する方向で承認されました。特別講義については、スポーツ健康科学部 有川一准教授より「みんなでバルシューレ！」と題しまして講義していただきます。

また今年度は意見交流会としまして、評議員の皆様より貴重なご意見をいただき実りあるお時間を過ごすことができました。

最後に、平井崇広副会長が閉会の挨拶をおこない評議員会を閉じました。



## 2017年度中部学院大学・中部学院大学短期大学部同窓会役員

### ■同窓会役員

会 長	小池 久(専攻科1999年度卒)
副 会 長	平井 崇広(人間福祉学部2001年度卒) 今村 昌代(幼児教育学科1978年度卒)
会 計	安田 千夏(健康福祉学科2006年度卒)
書 記	黄 玲(健康福祉学科2006年度卒)
監事/会計監査	山本 竜也(人間福祉学部2004年度卒) 宮部 陽子(岐阜幼稚園教員養成所1967年度卒)

### ■役割・任期

総 務 委 員	支部運営・名簿・会計・管理運営【2年】
広 報 委 員	同窓会報の発行、同窓会ホームページの運営【2年】
事 業 委 員	ホームカミングデー、講演会等イベントの企画・立案・実施【2年】
キャリア支援委員	キャリア支援【2年】

### ■教職員同窓会事務局

委 員 長	加藤大輔
副 委 員 長	海老諭香
事 務 局 員	土谷彩喜恵(広報委員) 瓜巢敦子 ★菅沼惇一 益田明(事業委員) 黄 玲 櫻川唯 安田千夏 富尾友紀(総務委員) 間宮大貴 大岩詩織 ★河合祐希 ★長谷川佳奈 ★大谷卓真 明石英子 疋田幸代(総務委員) 山住亜子(キャリア支援委員) 森 和美 飯島留美(広報委員) 野田玉枝(事業委員) 栗山有里枝 西 奈緒(キャリア支援委員)
事 務 室	★丹羽 章(事務局長) 武藤好美(学生支援部長) 福手登成(学生課) 三品真紀(学生課) ★長谷川佳奈(学生課)

★:新任

## 2016年度 同窓会 決算報告

(単位:円)

### ■収入の部

項 目	2016年度予算	決 算	備 考
繰越金	前年度繰越金 3,810,940	3,810,940	
入会金	5,110,000	5,060,000	入学者506名(大学349名、短大157名)
会 費	9,380,000	8,640,000	卒業生432名(大学4年生291名、短大2年生141名)
雑収入	預金利息 等 9,060	11,551	預金利息、野点売上
合 計	18,310,000	17,522,491	

### ■支出の部

項 目	2016年度予算	決 算	備 考
会議費	400,000	142,080	評議員会、運営委員会開催費
役員費	500,000	0	同窓会事務担当者採用予定
名簿整理費	200,000	90,720	協同同窓会事務局による名簿整理費用
通信・印刷費	3,000,000	2,471,770	ホームカミングデー案内状、同窓会報の作成・発送
事業費	国際交流奨学金 0	0	国際交流活動に対する援助
	同窓会長費 200,000	135,000	スポーツ・文化活動で功績のあった会員
	地方支部活動費 1,000,000	206,020	認定支部活動の援助
	活動費 800,000	739,099	ホームカミングデー、同窓生サロン開催費
事務費・消耗品費	50,000	0	
慶弔費	50,000	0	弔電
雑 費	20,000	11,100	振込手数料
記念事業積立金	11,000,000	11,000,000	短大創立50周年・大学創立20周年記念事業積立
予備費	1,090,000	257,800	大学行事への協賛、会費返還
小 計	18,310,000	15,053,589	
次年度繰越金		2,468,902	
合 計	18,310,000	17,522,491	

### ■特別会計

[記念事業積立金]

項 目	収入額	支出額	備 考
繰越金	52,000,000		
2016年度積立金	11,000,000		
		0	
小 計	63,000,000		
残 高		63,000,000	

[国際交流奨学金基金]

項 目	収入額	支出額	備 考
前年度繰越金	3,000,000		
基金組入	0		規定に基づき、前年度奨学金支出額を基金に組み入れ
奨学金		0	
小 計	3,000,000	0	
残 高		3,000,000	

## 2017年度 同窓会 予算

(単位:円)

### ■収入の部

項 目	2017年度予算	2016年度予算	備 考
繰越金	前年度繰越金 2,468,902	3,810,940	
入会金	5,080,000	5,110,000	入学者数508名(大学354、短大154)
会 費	10,560,000	9,380,000	卒業予定者数528名(大学4年生377名、短大2年生151名)
雑収入	預金利息 等 11,098	9,060	
合 計	18,120,000	18,310,000	

### ■支出の部

項 目	2017年度予算	2016年度予算	備 考
会議費	400,000	400,000	総会・評議会、運営委員会開催費
役員費	500,000	500,000	同窓会事務担当者採用予定
名簿整理費	200,000	200,000	協同同窓会事務局による名簿整理費用
通信・印刷費	3,000,000	3,000,000	ホームカミングデー案内状、同窓会報の作成・発送
事業費	国際交流奨学金 0	0	国際交流活動に対する援助
	同窓会長費 200,000	200,000	スポーツ・文化活動で功績のあった会員
	支部活動支援費 1,000,000	1,000,000	サークル支部、地方支部活動の援助
	活動費 1,000,000	800,000	ホームカミングデー、学びの森フェスティバル同窓生サロン
事務費・消耗品費	50,000	50,000	
慶弔費	50,000	50,000	弔電
雑 費	20,000	20,000	振込手数料
記念事業積立金	11,000,000	11,000,000	短大創立50周年・大学創立20周年記念事業積立
予備費	700,000	1,090,000	大学行事への協賛、会費返還
小 計	18,120,000	18,310,000	
次年度繰越金		0	
合 計	18,120,000	18,310,000	

### ■特別会計

[記念事業積立金]

項 目	収入額	支出額	備 考
繰越金	63,000,000		
2017年度積立金	11,000,000		
小 計	74,000,000	0	
残 高		74,000,000	

[国際交流奨学金基金]

項 目	収入額	支出額	備 考
前年度繰越金	3,000,000		
基金組入	0		規定に基づき、前年度奨学金支出額を基金に組み入れ
小 計	3,000,000	0	
残 高		3,000,000	

# 恩師からのメッセージ

## 激動の時代に巡り会えた幸運

経営学部 **今井 春昭**

2003年(平成15)からお世話になっています。4月、いま取り壊しが進んでいる「栄光館」では第3回の大学卒業式・第33回の短期大学卒業式が執り行われたばかりで、寒い中、入学式の準備が進んでいました。



学生諸君には熱気があふれていましたが、気になったのは煙草の吸い殻の散乱でした。当時名古屋の某女子大学で話題になっていた「禁煙キャンパス」をヒントに、両学長はじめ教職員の皆様のご協力をいただき、分煙の推奨や保健室による禁煙断煙支援などを実施、「グリーンキャンパス運動」「ごみゼロ運動」などととも定着したのは3年後でした。この間、卒業式・入学式の見直しや、「たのしみん祭」・「新生野球部」のスタートなど激変の時代でしたが、イノベーションが学院全体を支配する時代でした。

地域との繋がりはその延長上にあり、2008年の各務原キャンパス開設、シティカレッジヤラルーラの誕生に立ち会えたのも幸運の至りでした。岐阜済美学院の100年を支えてこられた同窓会の栄光をお祈りいたします。

## 短大同窓会の発展を願って

幼児教育学科 **伊藤 祐子**

このたびは学院100周年おめでとうございます。短期大学は50周年を迎えられたとのこと。短大開設2年目から勤務いたしました私には、二分の一世紀を数える今を迎えて感慨無量です。



初めて訪れた当時の短大校舎は、北欧風と語られギザギザ屋根、白壁の個性的な建物でした。広い敷地に思う存分伸びやかに建つ乙女の夢む校舎は、夏は風通し良く冬は暖炉風のストーブを囲んで教員も学生達と一緒にあっておしゃべりに花を咲かせる家庭的な雰囲気でした。今も短期大学はそうした伝統的な良さを持ち続けていると思います。

先月幼児教育学科と短大卒業生職員の皆様のご尽力により開かれた新同窓会発足に向けての交流会は、短大の前身である保育専門学院や幼稚園教員養成所の卒業生の皆様も駆けつけて下さり、これまでの同窓会につなぐことが出来た事は本当に嬉しいことでした。

これからも学生課のご支援を得て、この短大同窓会組織が一層発展していくことを切に願っております。

ぜひ、短大卒業生の皆様は、現住所等をお知らせ下さり、尚お知り合いの卒業生の方に連絡を取って下さるようお願いいたします。私も元気なうちは微力ながらお手伝いをさせて頂きたいと思っています。

## 大きく翔いて！

理学療法学科 **山崎 節子**

学院100周年・短大50周年・大学20周年そして理学療法学科10周年を迎えることが出来ました。これらは、皆さんが各職場や家庭で頑張ってきた賜物だと思います。おめでとうございます。



私は、本年3月、理学療法学科での11年間の勤務を終えたところです。しかし、私と本学の繋がりは、平成7年、非常勤での短大講義がスタートで、四半世紀近くになりました。その頃の状況を、岐阜新聞「素描」に「素晴らしい学生達」と題して紹介をしました。大学開学からは、社会福祉学科に加え健康福祉学科にも関わり、平成19年には理学療法学科1期生を迎え、本年3月には、7期生が国家試験合格100%を達成しました。どの学科の学生達にも「リハビリテーションの理念」を伝えることが出来たと思っています。

退職後、少し距離を置いて本学の学生を見てみると、素晴らしい面が見えてきました。それは、本学の学生は「礼儀正しく誠実な学生」であることです。この学院には、脈々とそのDNAが受け継がれてきています。

同窓生の皆さんは、その様な学院で青春を送ったことを誇りに思い、社会で大きく羽ばたいて頂きたいと思っています。

## 狩猟を通じての想い

人間福祉学部 **石川 淑人**

学院100周年・短大50周年・大学20周年の節目を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。趣味である狩猟を通じての想いを、紹介したいと思います。



狩猟は一般の人が自ら行なうには縁遠いものであり、世間では狩猟は動物を殺す残酷な趣味だと否定的な意見もあるが、近年、野生鳥獣(ニホンジカ・イノシシ)による自然生態系への影響や、年間4億5千万円(岐阜県)を超える農林業被害が発生している。しかしながら捕獲を担う狩猟者の減少(岐阜県;猟銃保持者(549年9,291人~H24年1,369人)、高齢化(約7割が60歳以上)が急速に進んでいるのが現状である。

山野では動物との関わりや大自然の美しさなど狩猟者だけが知る世界があり、野生に関わる狩猟はとても冒険的な経験だと感じる。そして野生動物の生態学や民俗学などの知的な探求も好奇心を刺激する。

食することは、命をいただくこと。この、命をいただく重さが一番良く知っているのは狩猟者である。野生動物に近づくほど、自然を慈しむ想いが大きくなっていく。狩猟は登山や野生動物の生態学、地域文化、農林業、福祉など多くのことにつながっている。そうした狩猟の経験を通じて、日本の豊かな自然や文化を子どもたちの世代へと引き継いでいければと思う。

## 折々に思い出すヒト・コト・出会い

子ども学部 **林 陽子**

私は2007年に中部学院大学短期大学部幼児教育学科に赴任いたしました。幼児教育学科に在籍中の思い出はたくさんありますが、白川村のトヨタ自然学校での新入生合宿もその一つです。往きのバスの中で、「四季の歌」の手話を教えていただいて繰り返し歌ったことを今でも思い出します。自然学校のインストラクターの方に、無限で微妙な木の葉の色の違いに気付かせていただいたことや、目をつぶって空気の温かさの違いを体験したことは、自然のもつ偉大さや奥深さだけでなく今というダイバーシティの尊重にもつながる貴重な気づきでした。



2009年からは、子ども学部にも異動し各務原キャンパスで教員生活を送ることになりました。子ども学部の思い出も、幼児教育学科時代同様数えきれないほどあります。子ども学部では、卒業時に論文を書きますが、提出期限の1か月前くらいから学生さんは本気になります。昼休みも授業後も研究室は連日誰かが出入りし賑やかになります。時には22時ごろになることもしばしばでした。すぎのこキャンプ場で1年生と食べた香ばしいお焦げご飯のカレーライスの味とともに、私にとっては貴重な思い出のひとつです。

現在は、愛知県の岡崎女子大学・岡崎女子短期大学に身を置いているのですが、中部学院大学がますます発展し、社会に有為な人材を輩出し続けていかれる様子を、嬉しく誇らしく思う毎日です。

## 懐かしい想いに包まれて

人間福祉学部 **浅倉 恵一**

在職中のエピソードとしては、やはりクラブ顧問をしていた「人形劇団のびっこクラブ」の活動と「福祉クラブ」の活動が学生たちと一緒にあって対外的に動きまわっていただけにしっかりと記憶に残っています。



それらの活動の中で一番心に残る活動は、「福祉クラブ」の学生が中核となった「重度障害者と共に歩む会」での実践です。重度障害者の文通サークル「山鳩の会」の代表 森章二さんとの福祉クラブの学生たちが中心となって実行委員会を組織して『車椅子の青春』という映画を上演したことが契機として生まれたのが前記の会です。この会の事務局として学生ひとり一人が車椅子利用者の手足となって活動を展開する姿に私自身学ばせられました。長期間続いたこの活動に関わった「福祉クラブ」の学生も多く、個々の卒業生の心の中にもきっとその残影が残っていると思います。

現在、私は乳児院や児童養護施設などを経営している社会福祉法人日本児童育成園の理事長として子どもの福祉活動に関わっています。昨年の8月までは育成園内に住んでいましたが、施設のリニューアルのため私の住居も壊しましたので、現在は賃貸マンションでの生活です。

園内生活では日常的に子どもや職員の声が入る環境でしたが、今はそれらが聞かれない場所のためにちょっと寂しい思いと反面、束縛から解放されたような思いの中にいます。とは言え園まで歩いて数分の場所なのでちょいちょい園に顔を出して子どもや職員とのふれあいを楽しんでいるのが現在の私の状況です。

新聞等で大学の名前に触れると目がそこに釘付けされます。特に短期大学部幼児教育学科は私の教育(福祉)活動の原点だけに想いが強くあります。先日幼児教育学科の同窓会役員の会合に参加する機会に恵まれ、懐かしく・楽しいひとときを過ごすことが出来ました。その機会が与えられましたことを心より感謝しています。

## 学院の宝物

人間福祉学部 **飯尾 良英**

私が本学と関わり始めて約45年になります。最初は、岐阜県社協に勤め県内の青年・学生ボランティアや障害者サークルと関わり始めた頃でした。中部女子短大の3期生が、働きながら学び地域でボランティア活動をしていました。その後、ご縁があって幼児教育学科社会福祉コースで、「社会福祉概論」の非常勤講師を担当しました。通路も無い寿司詰めの熱気ある教室でした。



そして、1994年、中部女子短大専攻科の専任教員となりました。当時の先生方の「凄さ」を今も覚えています。その頃の短大には、初等教育学科、英文科、商業科、幼児教育学科、専攻科、そして社会福祉学科が始まったばかりでした。その分野の素晴らしい先生方が揃っていました。毎年行った専攻科の実習励会は、全ての年を鮮明に覚えています。

専攻科で8年ほど経ってから、社会福祉学科との兼務になり、2年過程で介護福祉に正面から取り組むことになりました。白川村で行った新入生一泊研修や卒業生を対象にした介護福祉セミナー、ゼミ学生との旅行や合宿などが思い出です。

2012年から人間福祉学部へ移籍、4年間をかける教育は福祉の学びだけではなく、人間や社会、地域について深く考える機会となりました。次世代を担う若者を育て、学生たちが福祉や教育、医療、行政、警察・消防、企業などさまざまな分野で活躍する姿に接して、大学教育の大きさを実感しました。人間福祉学部では通信教育部でも役割を頂き、通信の学生との交流も生まれました。そして、2017年6月24日、人間福祉学部設置20周年の「大同窓会」を開くことができました。人間福祉学部で過ごした期間が約5年と短くても、大同窓会を通じて20年分の卒業生に出会うことができました。いま顧みて、中部学院の45年の関わりの中で、多くの学生の皆さんと出会いました。それは、私の思い出ですが、卒業生の皆さんが学院の宝物であると心底思います。

ここ数年、ベトナムの高齢化に貢献すべきベトナムの地で人材育成に取り組んでいます。地域に根をはり世界へつながる学院の姿を、いつまでも見守っていただきたいと思います。

## 卒業生にエール

社会福祉学科 **真野 啓子**

今年の3月まで社会福祉学科に所属しておりました真野啓子です。



平成9年から勤め始め、あっという間の20年間でした。在職中は「介護の本質は何か」「介護福祉士を目指す学生が在学中に学ぶべきことは何なのか」を探り、時には親しい仲間と語り合い、常に悩み迷いながらの教員生活でした。落ち込んだ時も学科の先生方に支えられたり、学生の皆さんにエネルギーをもらったりしながら何とか続けることができました。このような恵まれた環境で仕事できたことを心から感謝しております。

退職後は6月に産まれた愛おしい初孫の世話と93歳の母の介護に追われています。今、母がお世話になっているショートステイ事業所には卒業生が4人働いていましたが、それぞれ利用者に寄り添い温もりのある介護を実践してくれています。学生だった頃と比べると、とても頼もしく成長した彼らの姿に感動し嬉しく思います。

これから訪れるそれぞれのライフステージにおいて自己実現をめざし、豊かな人生を送られることを願っています。

## 同窓会支部活動

### ばらの会 ■ 報告者:飯島留美

中部学院同窓会報2016に、会員募集記事を掲載し、11名の会員でばらの会をスタートさせていただくことができました。現会員は専攻科の1～6期生で構成されています。

初めての集まりは、2016年11月18日です。後藤真澄教授にご協力いただき、会員6名で岐阜大学医学部解剖体慰霊祭に参列し、故梅村貞子先生の御霊に追悼と慰霊の誠を捧げました。ご遺族、大学関係者や医学部学生以外にも多くの献体登録者の参列があり、このような機会がなければ知ることがなかった貴重な経験をさせて

いただきました。梅村先生からは、今になっても勉強の機会をいただけることに思わず口元が緩みました。

その後は会場をカフェに移し、学生時代の懐かしい思い出話や近況報告などで楽しいひとときを過ごしました。学年は違っても共通の恩師、専攻科での学びは同じため、同級生だけの集まりとはまた違った話ができるのも魅力です。また集まって親睦を深めることはもちろん、海外旅行へ行きたいとの希望も出て、今後の会のゆくえが楽しみです。さらに会員が増え、いろいろな企画へとつながって行くことを願っています。



故 梅村先生の弟ご夫妻と

### 精神コース卒業生有志の会「プラス1」 ■ 報告者:加藤大輔

精神保健福祉コースの卒業生は、今、精神保健福祉領域だけでなく、障害者関連施設、医療機関、行政、社会福祉協議会等で活躍しています。多くの卒業生から「同じ学年の“横のつながり”だけでなく、学年を超えた“縦のつながり”



各務原キャンパスにて

の構築を図る機会が欲しい」という声が以前から挙がっていました。

そこで、2017年2月25日(土)、各務原キャンパスで「第2回卒業生の集い」を開催し、約50名の参加がありました。普段、なかなか会うことができない同級生、先輩や後輩との貴重な時間ということもあり、内容を3部構成(第1部は、同級生や近い世代の仲間との交流、第2部は世代を超えた交流、第3部は様々な領域で活躍している仲間の実践を聴くシンポジウム)としました。

短い時間の中での交流や意見交換でしたが、恩師の参加もあり、笑顔があふれる、穏やかな集いとなりました。“横”と“縦”の関係を力強いものにしていくためにも、今後も継続的に集いの会を企画していきたいと考えています。

### 18年度幼児教育学科卒業生同窓会 ■ 報告者:岩田絵美

来年3月で卒業10年を迎えるにあたり、久しぶりに皆で集まる機会を設けました。保育士として現役で働いている子、結婚して主婦をしている子など、いまの生活は様々ですが、久しぶりに会った友人と学生時代のように和気あいあいと話をする様子を見て、10年のブランクを全く感じませんでした。

今回の開催は、大学の同窓会室をお借りして、大人も子供も楽しめる環境作りとイベントを開催することができました。私たちの在学中には

なかった建物ですが、大学に来ること自体久しぶりの子には、懐かしい大学の雰囲気を感じてもらえたように思います。

これを機会に、ホームカミングデーに足を運んだり、遠ざかっていた友人と連絡を取ったり、更に交流の幅が広がることを願っています。また節目の年や集まりたいとの声があがった際にはこのような場を設けていきたいと思っています。

今回ご協力下さった学生課の担当の方にはとても感謝しております。ありがとうございました。



同窓会室にて

### 「楽にお喋りできる仲間」ひまわりの会 ■ 報告者:早川節子

年一回のひまわりの会 今年の担当は、名古屋地区でした。太陽に向かって元気なひまわりのように明るく笑顔でという意味が込められ「ひまわりの会」としましたが…皆さん年々体力が衰えてきました。でも笑顔と会話は、どの人も若い人に



名鉄犬山ホテルにて

負けにくい笑顔や会話が盛り上がります。

今年は、2年前と同じ場所、犬山の名鉄犬山ホテルで行いました。東京から新幹線で毎年参加している人以外は、自家用車で近くの人同士が乗り合わせて集まってくれました。前回犬山城見学と城下町を散策したので今回は2日間ホテルの中で過ごしました。皆いろいろな趣味があり毎年ドクダミのお茶を大量に作り全員におすそわけしてくれて、毎日飲むと体にととても良いとの事暑い夏をのりきり元気になります。また可愛い手作り小物入れを全員に作ってくれた人。家庭菜園で汗を流しおいしい野菜を近所に提供する人、鈴鹿山脈の山登りを毎月楽しんでいる人など皆じっと生活

していません。

お孫さんの保育園のお迎えや、身内の老人介護をしている人も居ます。その苦労や喜びを聞かせてくれました。私たちが老人の世代になりました。ちまたでは同年齢で施設に入所している人もいると聞きました。改めてひまわりの会に参加できる喜びに感謝しています。

2日間のお喋りは尽きず、日ごろの疲れやストレスを忘れました。また健康や介護についての経験からくる助言が大変勉強になり明日から頑張ろうというエネルギーがもらえ元気になります。ひまわりの会の仲間が健康で今後も続けていきたいと思っています。

### 中部学院大学千鳥ゼミ会 ■ 報告者:布目真吾

私たち中部学院大学千鳥ゼミ会は2013年から活動を開始し、会員は千鳥ゼミ生および同ゼミ卒業生で構成されています。会員数は65名(2017年現在)であり、大学卒業後においても同期の絆と先輩後輩のつながりを意識し続け、相談や意見交換を通して互いに自己成長を促していくことを目的としています。

実際の活動に関しては毎年秋に「千鳥ゼミ大会」というイベントを実施しており、研究発表やテーマに沿ったディスカッション等を企画

しています。また、同日には総会と懇親会を例年実施し、“メリハリのある取り組み”かつ“フランクな交流”を図るようにしています。このような活動を通して各々がよい刺激を受け、相互作用が生まれるような関わりができることを願っています。

また、会員同士はSNSや専用ホームページを通してつながりをもつようにしています。今後は在学生・大学と卒業生とのつながりとしても橋渡し役を担えるよう、取り組んでまいります。



第4回 千鳥ゼミ大会in名古屋

## 同窓会支部をつかって、同窓会を盛り上げよう!

### 同窓会支部とは?

地域支部と認定支部の二つがあり、地域支部は原則として都道府県を単位として組織するもので、認定支部はゼミ、サークル、卒業年度別のOB会および職域団体の同窓生グループを単位として組織するものです。構成人数は10人以上となっています。

### 同窓会支部活動のメリット

同窓会支部を結成し、支部活動を行ったときは、その活動に要した費用の一部の補助を受けることができます。

例えば・・・

- ① 郵送費の補助。発送件数が100件以内は5,000円の補助など。
- ② 施設利用料について、請求額の50%を上限として交付。補助額については20,000円を上限とする。
- ③ 同窓会報への原稿提供に対する補助。活動を投稿された場合は、上限を10,000円として補助する。

上記のような様々な補助の制度があります。詳細は、P14同窓会支部活動費補助規定をご確認ください。

## 実際に、同窓会支部を設立し、活動しよう!

### ① ゼミで支部をつくってみよう!

ゼミ仲間を10人以上集め、大学HPから同窓会支部設立申請書をダウンロードし、同窓会長宛に同窓会事務局のある学生課に提出!

運営委員会で審議後、評議員会にて承認

ゼミの認定支部設立

### ② 活動の補助金を受けよう!

#### 1.ゼミ同窓会の案内を発送

ゼミの同級生20名に発送  
補助金規定第3条より5,000円の補助

#### 2.外部施設で同窓会&講演会を実施

外部施設とプロジェクターを利用  
補助金規定第3条より25,000円の補助

#### 3.同窓会報への原稿提供

活動報告として、原稿と活動写真を提供  
補助金規定第3条より10,000円の補助

1.2.3を合わせて40,000円の補助が受けられました。

上記のような活動を行う際には、年1回として、補助金および案内発送業務、返信用はがきの提供を受けることができます。詳細は、P14同窓会支部細則、同窓会支部活動費補助規定をご覧ください。

◎不明な点は学生課までお問い合わせください。

# 同窓生の声

## ■南 真里さん (旧姓:坂口)

幼児教育学科 2004年度卒  
専攻科 2005年度卒  
通信教育学部 2010年度卒



### ●大学時代の思い出

一番思い出に残っているのは、やはり専攻科での思い出です。学級委員になった事で、クラスの人々と仲良くなれ、先生ともより深く関わる事が出来ました。短大生になって、学級委員になるとは思いませんでしたが、今振り返れば良い経験だったと思います。みんなでいろいろ乗り越え、楽しい思い出もいっぱいでき、本当に充実した1年でした。今ではそれぞれの道に進んでいますが、久しぶりに仲間で会うと昔のように戻ってしまうのは、仲が良かった証拠です。

### ●最近の出来事

二人の娘がいて、子ども達に振り回されている毎日です。仕事と子育ての両立は難しいですが、夫や両親などに助けられここまでやってきました。障害者支援施設で働いており、精神的にも、体力的にも疲れる仕事ですが、子ども達の笑顔で頑張っています。今の一番の楽しみは、子ども達と一緒に「おかあさんといっしょ」の「ブンパボン！」を本気で踊る事です。歳は取りましたがまだまだ踊れます。専攻科2005年度の卒業生なら分かるはず(笑)

## ■和田 慎太郎さん

健康福祉学科 2010年度卒



### ●大学時代の思い出

今回「同窓生の声」のお話をいただき、自身の学生生活を思い返してみると、自分にとっての大学生活は「自分が選ぶ」ということを学んだ時間であったように思います。小・中・高校は、すべて自宅から一番近い地元の学校に通い、ある意味あたりまえのルールの上を歩んだような人生でした。大学では「自分のやりたい事をしよう!」と思い、とにかく楽しいことを探し、共感しあえる仲間と集まり、たくさんお酒も飲み交わしてきた記憶があります。そしてそんな中で「どうしたら楽しい(=幸せな)時間が作れるのか」という思いの中で「本当に自分がやりたい事は何か」ということを考えるようになったというのが自分の大学時代の印象です。

### ●最近の出来事

現在の職場に入局してからは、地域福祉を推進する部署の中で、ボランティア活動を行う皆さんのサポートする業務を行って来ました。その中でもこの6年間は、東日本大震災をはじめ多くの災害が日本列島を襲いました。私も、岩手県、茨城県、熊本県など被災された現場でボランティア活動を円滑に行うためのサポートに関らせていただきましたが、そんな経験の中で、「普通(普段)の暮らしあるというあたりまえ」がどれだけ幸せなのかということを痛感しています。これからも暮らしの中で起こる様々な出来事の中で、何が楽しい(=幸せ)のかという感覚を揺れ動かされながら、たくさんの方と一緒に「幸せな暮らし」考えていきたいと思っています。

## ■土谷 知子さん (旧姓:岩田)

社会福祉学科 2000年度卒  
人間福祉学部 2002年度卒



### ●大学時代の思い出

短大から編入し、1・2年生に混じって講義を受けていました。空き時間には先生のご厚意で、大学院の先輩から社会福祉士の国家試験対策として定期的に勉強会を開いてもらい、編入生同士で教えながら受験勉強をしました。短大から移行できる単位数に限りがあったため、カリキュラムにゆとりがなく毎日大学に行っていた記憶があります。大変だったけれど楽しかったし、真面目に取り組めば結果につながる、今の自分の支えになっている大切な思い出です。

### ●最近の出来事

障がい者の移動支援や通所介護の相談員を経て、今は地元の社会福祉協議会の地域包括支援センターで社会福祉士として勤務しています。スキルアップを目指して介護支援専門員の資格も取得しました。プライベートでは、男子2人の母で子育て奮闘中ですが、夫が海外に単身赴任になり、家事と育児の分担ができず大忙しです。子供たちからもらった「パパがいない間は僕たちがママを守ります」という手紙を、職場のデスクに飾って毎日頑張っています。

## ■笠原 拓也さん

子ども学科 2010年度卒



### ●大学時代の思い出

サークル活動と、友達との学生生活が印象的でした。入学した当初は学部設立から2年目で、サークルが少なかったのですが、そこから友達と協力してフットサルサークルを立ち上げました。様々な活動を通して立ち上げたこのサークルが、大学生活が充実できた理由の一つだと思います。現在もフットサルは続けていて、この時のメンバーとも交流があります。

友達との学生生活では、気が合う友達と、同じジャンルの目標に向かい日々精進することができました。毎日を笑顔で楽しく過ごせたのは、彼らがいたからだと思います。将来の不安を話したり、学生らしく大騒ぎをしたり、そんな友達との時間が大好きでした。本当に楽しくあっという間の4年間でした。

### ●最近の出来事

卒業後、子ども相談センターの一時保護所で5年間務めさせていただき、現在は児童自立支援施設での勤務となっています。児童自立支援施設での勤務は2年目となり、日々子どもの成長や課題を間近で見、子どもと共に成長をしようと努めています。

私事ですと、昨年に結婚をして近々子どもが産まれます。友達にも恵まれ、家族にも恵まれ、順風満帆に生活を送っています。健康に気を付けてカッコいいパパを目指して、仕事もフットサルも笑顔で頑張っていきます。

# 頑張ってます! 同窓生

人の人生と世の中に貢献したい。  
その為に「努力・自己成長」を怠らない。



株式会社メイション  
スマ婚事業部 事業部長

## 河田 竜治さん

2007年度 中部学院大学 健康福祉学科卒業  
2008年度 株式会社メイション入社 ウェディングプランナーとして従事  
2010年度 株式会社メイション 大阪支社 営業マネージャーに就任  
2011年度 株式会社メイション 新宿本社 営業マネージャーに就任  
2013年度 株式会社メイション 名古屋支社 営業マネージャーに就任  
2015年度 株式会社メイション 新宿本社 ゼネラルマネージャー補佐に就任  
2016年度 株式会社メイション 名古屋支社 支社長に就任  
2016年度 株式会社メイション 西日本グループ グループ長に就任  
2017年度 株式会社メイション スマ婚事業部 事業部長に就任

10年前に中部学院大学を卒業し、新卒生として入社したプライダルのベンチャー企業にて現在もプライダルのプロデュースを手がけています。当時全社員で20名~30名だった会社も現在は5倍の150名までになりました。

当時新卒採用を行っていなかった現会社に飛び込みで面接をしていただきタイミングよく採用いただき、右も左もわからない22歳の私はそれから寝る間も惜しんでビジネスマンとしてのスキルとマインドを学んでいきました。今も自分自身胸を張って言えることは誰よりも努力したことです。

自分が今まで向き合ってきた弱みと正直に向き合い、日々改善をし自己成長に努めました。(会社の方達の愛情あるご指導もかなり大きかったです)それは10年経った今も変わらず常に努力を続けています。努力の結果、自分の成長が社員皆の成長に繋がり、それは会社の成長となり、サービスの成長につながっていきました。努力はしてもしてなくても

## やればできる!

上海匠翼実業有限公司

## 呉 書信さん

2012年度 経営学部経営学科卒業



日本の経営ノウハウを勉強するため、2008年私は中部学院大学経営学部に入學しました。4年間の留学生活の中で、たくさん思い出が残り、一生忘れられません。

真面目に勉強することは学生の本分ですが、留学生として学費と生活費を工面するためアルバイトをしなければなりません。アルバイト先で一般の日本人と接し、日本人の勤勉さ、おもてなしのサービス精神など、たくさんのお話をいただきました。在学中、勉強とアルバイトが両立できるよう工夫し、物事の見方や考え方などを自然に身につけることができました。経営学部の企業見学、恩師とのボランティア活動、学びの森フェスティバルの小籠包づくり・販売、すべて貴重な経験だと思います。また、在学中は大学をはじめ、文部科学省、NPO法人イエロ・エンジェルから奨学金をいただき、心から感謝します。

大学でもう一つ教わったことは、「やればできる」ということです。

誰もわかりませんが自分自身が一番わかっています。自分の成長によりサービスが成長し、そのサービスが世の中に貢献していく未来を強く描き、これからも愚直に真面目に努力することが私の人生におけるテーマです。

現在は株式会社メイションが運営する「スマ婚」というサービスの部長をしております。スマ婚は結婚式をプロデュースするサービスです。「世の中にもっと結婚式を増やしたい」という想いで2008年に大阪でスタートいたしました。現在年間約60万組の入籍者がいますが結婚式を挙げるのは約半分という実態です。結婚式を挙げられない理由はそれぞれですが「金銭的理由」がそのなかでも大半を占めております。日本の結婚式の金額は年々徐々に高騰していき、本来誰もが平等に挙げられるべき結婚式が挙げられないという世の中になりつつあります。この現状を打破しようと我々スマ婚は、通常の結婚式を安価で出来るような仕組みを作り出し「一組でも多くの方に結婚式をやっていただく」べくサービスを提供しております。立ち上げから全国に拠点を拡げ今まで多くのお客様に結婚式を提供してきました。

今私は事業部長という立場でスマ婚というサービスを運営していますが、結婚式をすることでその後の結婚生活を豊かに過ごしていただきたい。結婚式にお金をかけすぎるのではなく、その後の結婚生活のためにもお金を残し、幸せな生活を過ごしていただきたい。そんな想いで日々仲間と共に奮闘しております。

これからも「愚直に真面目に努力する」という人生のテーマを忘れず、仲間の人生、お客様の人生、ひいては世の中に貢献していきたいと思っています。



やればできるという信念を持っていれば、怖いことがなくなり意外にできることが多くなります。当然、うまくいかない時がありますが、その時にやり方や考え方を変えれば、期待以上に成果が出て来るかもしれません。やらないと、ただの夢(空想)になります。

卒業後、私は関市の刃物会社で3年ほど勤めました。製造の現場から学び、2年で社長を補佐する立場となることができました。そこで、会社経営の知識を実践し、品質管理、貿易関係などのことを勉強しました。2014年10月、私は中国へ帰国することを決めました。以前勤めた刃物会社の海外OEMを担当しながら、自分の会社を立ち上げました。2016年上海匠翼実業有限公司を成立し、主に文具の開発と販売をしています。同年、新商品を開発し、日本の特許を取得しました。今、会社では12名の従業員がいます。海外品質管理、新商品開発販売などの仕事をし、妻と娘一人の充実した生活をしています。

日本でたくさんのご指導、ご支援をいただきながら、今の自分がいます。これからも初心を忘れずに、頑張っていきたいと思っています。また、いつか助けていただいた方のように自分から恩返しできる日を楽しみにしています。

最後に、大学の恩師や卒業生、在学生の皆さんが上海にいらっしゃるときには、是非お立ち寄りください。



## 体育館・運動学実習棟竣工記念式典を挙りました

2017年6月10日(土)、清々しい初夏の晴天に恵まれ、岐阜済美学院100周年記念事業 体育館・運動学実習棟竣工記念式典を挙りました。

記念公演では、約500名の観覧者が見つめる中、華麗で力強い演技を披露してくれた済美高校男子新体操部、そして、義足のダンサー大前さんからは、音や映像とともに表現される世界に一つだけのダンスパフォーマンスを披露していただきました。来賓や地域の皆さま、そして本学の学生など多くの方々を魅了し、会場の空気が一つになった、そんな素晴らしい記念公演となりました。

当日は運動学実習棟にて竣工式を執り行い、続いて体育館にてリオ・パラリンピック閉会式で世界を魅了したプロダンサー・大前光市さんと全国トップレベルで活躍する済美高校男子新体操部による記念公演を行いました。

また午後からのスポーツ健康科学部開設記念講演会では、元岐阜大学学長の黒木登志夫先生をお招きし、「よい生活習慣と生涯スポーツが作る健康」をご講演いただきました。黒木先生は「生涯スポーツが健康寿命を延ばす」ことの原因や背景など、ご自身の研究(ガンに関する研究)を踏まえ、大変わかりやすく、ユーモアたっぷりにお話され、聴講者からも大好評でありました。

講演後の体育館、運動学実習棟の内覧会においても、種々の機器体験が行われるなど、大盛況の中、竣工式典を終えることができました。

今後におきましても、来賓の皆さまや地域の皆さまをはじめ、多くの方々に広くご活用いただける体育館、運動学実習棟でありたいと思います。



## 人間福祉学部20周年 大同窓会が開催されました

人間福祉学部の全ての卒業生が一堂に集う大同窓会が、6月24日(土)の午後、JR岐阜駅前前のじゅうろくプラザ大会議室で開かれました。参加者は110名、1期生から16期生まで全ての卒業年度が揃いました。また、退職された先生方も8名、駆けつけて頂き華を添えて頂きました。

大同窓会のI部は、岡本健学長をはじめお亡くなりになった先生、学生の皆さんに黙とうを捧げて始まりました。そして、古田善伯学長の挨拶、片桐史恵副学長のメッセージ紹介と続きました。古田学長は、済美学院100周年、中部学院大学20周年の節目にあたって、大学の近況と将来に向かって飛躍する姿を伝えました。続いて、嘗て本学の人間福祉学部教授であり現在東洋大学社会福祉学部教授である文貞寛先生が「社会的な希望を育むこと」と題して記念講演をしてくださいました。社会や周りとの関係に気づくことが成長につながると分かりやすくデータを挙げてお話をされました。文先生のエネルギーなお話をとても懐かしく聞かせて頂きました。その後、卒業生によるシンポジウムを行いました。発表者は、2003年度卒の田村禎章さん(ユマニテック医療福祉大学校教員)、2001年度卒神谷俊介さん(樹心寮施設長)、平井崇広さん(羽島学園部長)、2010年度卒佐高会利奈さん(岐阜中央病院PSW)が、学生時代の思い出と現在の大学に期待することを話しました。人間福祉学部ができた

最初の頃、学生の皆さんが頑張っていてサークルや大学祭など中部学院大学の基礎を創ったエピソードを聞くことができました。当時の学生のパワーの凄さに感心しました。

II部は、卒業生の土谷彩喜恵さんと安田千夏さんの司会によって楽しい交流会に移りました。卒業生の濱島秀行さんのミニコンサート、近況報告、抽選会など、学生時代の懐かしい話に花が咲きました。参加者の中には、遠くは九州、四国からの卒業生がいて、卒業後も強い絆で結ばれていることを実感しました。

最後に、実行委員長の櫻川唯さんが閉会の言葉を述べて、再会を誓ってお開きになりました。その後、記念撮影が行われ、卒業年度ごとに2次会へと流れていきました。

現在、Facebookのなかに「中部学院大学人間福祉学部同窓会」を開設しています。グループに加わってください。卒業生の皆さんの交流の場として活用したいと思っております。



## 内海大寿選手(経営4年)侍ジャパン大学代表選出

「ベストスイングを心掛け、チームに貢献したい」

7月にアメリカで行われた「日米大学野球選手権」の日本代表選手に、硬式野球部主将の内海大寿(うつみ・だいじゅ)選手(経営学科4年生・徳島商業高校出身)が選ばれました。内海選手は右投げ右打ち。強肩強打の外野手として注目されています。

「目標としていた日本代表に入り、スタート地点に立つことができました。バッティングでは力まず、ベストスイングを心掛けたいです。チームとして3連覇がかかっているから貢献できるプレーをしたい」と抱負を話していました。背番号は3。



## ～学科同窓会のお知らせ～

- 教育学部**  
子ども福祉・子ども学科 ホームカミングデーシンポジウム  
日にち:11月3日(金・祝) 会場:各務原キャンパス
- 理学療法学科**  
学科開設10周年記念事業  
日にち:10月14日(土) 会場:じゅうろくプラザ(予定)
- 経営学部**  
「経営学部35年のあゆみ」刊行事業記念同窓会 幹事会  
日にち:9月23日(土・祝) 16:00～ 会場:関キャンパス 同窓会室
- 幼児教育学科**  
幼児教育学科同窓会設立記念祝会  
日にち:2018年1月27日(日) 会場:関キャンパス(予定)

## 進路・就職支援

## 2016年度(2017年3月卒)就職状況



公務員14、企業96、教員・講師18、病院41、病院(精神系)3、精神障害者社会復帰施設4、幼稚園(私立)6、認定こども園1、保育所(公立)7、保育所(私立)16、児童養護施設・乳児院・母子生活支援施設4、その他の教育・学習支援4、障害者(児)支援施設8、特別養護老人ホーム15、介護老人保健施設6、その他の高齢者施設1、複合福祉施設3、社会福祉協議会3

企業5、病院7、幼稚園(公立)1、幼稚園(私立)14、認定こども園6、保育園(公立)10、保育園(私立)51、児童養護施設・乳児院5、その他の教育・学習支援1、障害者支援施設5、特別養護老人ホーム19、介護老人保健施設7、その他の高齢者施設9、複合福祉施設9、社会福祉協議会1、その他の福祉事業等2

## キャリア支援科目「仕事と人生」卒業生キャリアフォーラム

「仕事と人生」は、就職を控えた大学3年生と短期大学部1年生を対象に開講します。同窓生をパネリストとして招いた「卒業生キャリアフォーラム」を大学、短期大学部とも12月12日に関キャンパスで開催しました。公務員、企業、福祉、保育、介護の各分野で活躍する同窓生が、就職活動への心構えやポイント、進路決定で大切にしたこと、学生時代に経験して

おくと良いことなどを伝えました。参加した学生からは「身だしなみや言葉遣いは面接のために気をつけるのではなく、普段の生活から意識して行動していきたい」「自己分析が大切であることを改めて実感した」「希望の仕事につけた方話から、諦めずに頑張って夢を叶えようと思った」など、前向きで積極的な意見が聞かれました。

パネリスト(大学) ※写真左から

- 小川 晃司さん(生活相談員)**  
社会福祉法人 愛生福祉会 特別養護老人ホーム 黒石荘  
2004年度 人間福祉学部 人間福祉学科 卒業
- 清水 麻衣さん(事務)**  
十六銀行 可児支店  
2012年度 経営学部 経営学科 卒業
- 堀 祐輔さん(専門技術職)**  
株式会社 ナベヤ  
2015年度 子ども学部 子ども学科 卒業

- 兼松 志帆さん(行政職)**  
坂祝町役場 総務課  
2014年度 子ども学部 子ども学科 卒業
- 日比野 知美さん(保育士)**  
社会福祉法人 中部学院福祉会 常盤保育園  
2010年度 子ども学部 子ども学科 卒業
- 川合 真治さん(主任自立相談員)**  
社会福祉法人 可児市社会福祉協議会 支援係 生活サポートセンター  
2001年度 人間福祉学部 人間福祉学科 卒業



パネリスト(短期大学部) ※写真左から

- 高島 知哉さん(介護福祉士)**  
社会福祉法人 祥雲会 特別養護老人ホーム あかつき  
2009年度 短期大学部 社会福祉学科 卒業
- 尾沼 美樹さん(ケアワーカー)**  
社会福祉法人 岐阜泉福祉事業団 岐阜泉立サニーヒルズみずなみ  
2014年度 短期大学部 社会福祉学科 卒業
- 平下 知実さん(介護福祉士)**  
地方独立行政法人 地域医療機能推進機構 可児とうの病院附属介護老人保健施設  
2015年度 短期大学部 社会福祉学科 卒業

- 大場 春季さん(保育士)**  
社会福祉法人 カトリック名古屋教区福音会 妻の穂乳児ホーム かがやき  
2014年度 短期大学部 幼児教育学科 卒業
- 打田 仁美さん(保育士)**  
関市立富岡保育園  
2015年度 短期大学部 幼児教育学科 卒業
- 武井 由香さん(幼稚園教諭)**  
学校法人 岐阜済美学院 中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属 朝が丘幼稚園  
2005年度 短期大学部 幼児教育学科 卒業  
2006年度 専攻科(福祉専攻) 修了



## 人材バンク登録のご案内

キャリア支援センターでは「中部学院大学・中部学院大学短期大学部人材バンク」を設置し、同窓生への多様な就職支援を行っています。登録ご希望の方は、以下の要領をお願いします。 ※登録された方には、随時新しい就職情報を提供いたします。

- FAX利用の場合** 本学ホームページ【就職・キャリア支援】→【人材バンク登録のご案内】→【人材バンク登録方法】の順で申込用紙をダウンロード。必要事項記入の上、キャリア支援センターに送信。 **FAX:0575-24-6656**
- E-mail利用の場合** 下記項目を記入の上、キャリア支援センターに送信。 **career-c@chubu-gu.ac.jp**

- ①氏名 ④E-mailアドレス ⑦希望職種(幼稚園・保育園、施設関係、病院、一般企業、その他)
- ②郵便番号・住所 ⑤卒業年度 ⑧資格・免許(社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、教員免許、保育士、その他)
- ③電話番号 ⑥卒業学科 ⑨現在の就業状況(正規職員、非正規職員、未就業)

※登録された内容は、就職情報提供以外には使用しません。 ※連絡は原則としてE-mailで行います。  
※当センターの「人材バンク」は、転職を奨励・斡旋するための制度ではありません。現在就業中の方は、慎重な対応をお願いします。

# ホームカミングデー

2017年10月21日(土) 10:00～  
関キャンパスにて



似顔絵コーナーや抹茶コーナー(野点)、ビンゴ大会などのワクワクするコーナーはもちろん、昨年大好評だった特別講義も実施いたします。今年にはスポーツ健康科学部 有川一准教授より「みんなでバルシューレ！」と題しまして講義していただきます。ぜひ懐かしの大学でもう一度、学んでみませんか。皆さまお誘いあわせの上、ホームカミングデーへお越しください。心より皆さまのお越しをお待ちしております。

大学祭  
たのしみん祭  
同時開催!!

## ホームカミングデープログラム

### 同窓会室

10:00 ↓ 14:00	● 恩師と語ろう
	● アルバム閲覧
	● 似顔絵コーナー
	● わたしもハロウィン体験
	● スタンプラリー

### グレースホール

13:00	特別講義 みんなでバルシューレ! 講師:有川一先生(スポーツ健康科学部 准教授)
13:45	
13:50	● ホームカミングデーセレモニー ● 豪華! ビンゴ大会
14:45	
15:00	スタンプラリー景品交換 終了

### お車でお越しの皆さまへ

本学駐車場が工事中の為、駐車台数に限りがあり、満車が予想されます。お車でのご来場はご遠慮いただき、スクールバスもしくは、公共交通機関にてお越しください。

### スクールバス

スクールバスの運行時間が変更になる場合があります。詳しくは本学のホームページをご覧ください。

#### ■ 大学行き ※ JR那加駅...各務原キャンパス経由

JR岐阜駅	JR美濃太田駅	名鉄犬山駅	JR那加駅※	JR多治見駅	北神戸駅
9:10	9:10	9:10	9:20	8:30	8:05
9:51		10:20		10:40	
11:20	11:20		11:30		

#### ■ 大学発(帰り) ※ JR那加駅...各務原キャンパス経由

JR岐阜駅	JR美濃太田駅	名鉄犬山駅	JR那加駅※	JR多治見駅	北神戸駅
13:30	13:30	13:30	13:30	13:30	13:30
15:15	15:15	15:15			
17:20	17:20	17:20	17:20	17:20	17:20

携帯サイトから参加申込できます! →

<https://goo.gl/forms/WMPVg8YiJbaxHQS13>



## 岐阜済美学院からのお知らせ



岐阜済美学院創立100周年記念式典を下記のとおり開催します。

**日時** 2017年11月25日(土) 10:00~11:30(予定)

**場所** 長良川国際会議場 メインホールさらさ〜ら  
(岐阜市長良福光2695-2 Tel 058-296-1200)

**出演** 宗次 徳二氏 (カレーハウスCoCo壱番屋 創業者 (中部学院大学・中部学院大学短期大学部客員教授) の講演 その他

学院の100年の歩みと未来を、宗次徳二氏の講演、学院ゆかりの映像、学生・生徒・園児による音楽でお届けします。ぜひ、多くのかたのご来場をお待ちしております。

▶ 詳細は、100周年記念サイトをご覧ください。  
<https://gifuseibigakuin.jp/> (大学ホームページにバナーがあります)

## 3年次編入学試験のご案内

短期大学・大学を卒業のみなさんは、下記学部への3年次への編入学が可能です。但し、ご卒業された学科によって編入学できる学部・取得できる資格が異なります。

■ 募集学部 / 人間福祉学部 人間福祉学科  
教育学部 子ども教育学科

■ 選考方法 / 書類審査、小論文、個人面接による総合評価

■ 出願期間 / 前期:2017年10月16日(月)~10月31日(火)  
中期:2017年11月13日(月)~11月28日(火)  
後期:2018年1月30日(火)~2月13日(火)

■ 試験日 / 前期:2017年11月4日(土)  
中期:2017年12月2日(土)  
後期:2018年2月17日(土)

\* 詳しくは下記までお問い合わせください。

中部学院大学 入試広報課 / TEL:0575-24-2213 FAX:0575-24-2367 E-mail:nyushi@chubu-gu.ac.jp

## 中部学院大学・短期大学部 同窓生特別推薦入試のご案内

### 同窓生特別推薦入試とは...

本学で修学され、ご卒業後も本学へのご理解とご協力をいただいていることに敬意を表し、感謝の念を入学試験制度に反映させるものです。下記の出願資格に該当する方が対象です。

出願資格

旧「済美保育専門学校・岐阜幼稚園教員養成所・岐阜済美学院短期大学・中部女子短期大学・中部女子短期大学第三部・岐阜保育専門学校」、現「中部学院大学短期大学部・中部学院大学」卒業生の2親等内の血族、姻族(子女、兄弟、姉妹、配偶者など)で、本学を専願とする方。

\*たとえば、受験される方のご両親、祖父母、兄弟姉妹が、卒業生の場合が対象になります。

■ 選考方法 / ● 書類審査と個人面接等による総合評価 ● 学校長推薦

■ 出願期間 / 2017年10月23日(月)~11月7日(火)

■ 試験日 / 11月11日(土)

特典① 入学金全額免除 特典② 受験料免除

\* 詳しくは下記までお問い合わせください。

中部学院大学 入試広報課 / TEL:0575-24-2213 FAX:0575-24-2367 E-mail:nyushi@chubu-gu.ac.jp

## 中部学院大学 通信教育部 編入学のご案内

短期大学・大学をご卒業のみなさんは、通信教育部の3年次への編入学が可能です。(大学の学部によっては4年次編入学可) 編入学のメリットは、短期大学・大学で修得した単位の認定により、最短2年間(4年次編入は1年間)で卒業が可能なことです。

### 取得可能な資格

- ◎ 社会福祉士受験資格 ◎ 精神保健福祉士受験資格
- ◎ 高等学校教諭1種免許状(福祉) ◎ 認定心理士 ◎ 認定スクールソーシャルワーク教育課程修了
- ◎ その他の資格・社会教育主事任用資格・社会福祉主事任用資格 等

### スクーリングについて

- ◎ 会場 / 本学(関または各務原キャンパス)・名古屋・金沢・松本・浜松・大阪・甲府
- ◎ 日数の目安 / 年平均8日程度

### 学費について

履修する科目やスクーリング数に応じて学費を支払う単位制学費システムにより、ご自身の都合にあわせて学ぶことができます。

■ 2018年度出願期間(4月入学) / 2018年1月上旬~2018年5月中旬(予定)

同窓生のみなさんは... 特典① 入学金全額免除 特典② 選考料免除

\* 詳しくは下記までお問い合わせください。

中部学院大学 通信教育部事務課 / TEL:0575-24-2287 FAX:0575-24-2710 E-mail:tsushin@chubu-gu.ac.jp

## 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 同窓会会則

### 第1章 総 則

#### 第1条(名称)

本会は、中部学院大学・中部学院大学短期大学部同窓会と称する。

#### 第2条(事務局の所在地)

本会の事務局を、〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 中部学院大学・中部学院大学短期大学部内に置く。

### 第2章 目 的

#### 第3条(目的)

本会は会員相互の親睦と教養を深め、母校の発展に寄与することを目的とする。

#### 第4条(事業)

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行うことができる。

- 1)学術講演会、親睦会等の開催
- 2)会誌の発行
- 3)その他、前条の目的を達成するために必要と認める事業

### 第3章 会 員

#### 第5条(会員)

本会は正会員、準会員、特別会員をもって組織する。

- 1)正会員は岐阜済美学院短期大学卒業生、中部女子短期大学卒業生、済美保育専門学院卒業生、岐阜幼稚園教員養成所卒業生、岐阜済美学院短期大学附設幼稚園教員養成所卒業生、岐阜保育専門学校卒業生、中部学院大学卒業生、中部学院大学短期大学部卒業生及び評議員会で承認された者
- 2)準会員は中部学院大学・中部学院大学短期大学部の在学生及び旧教職員で準会員を希望する者
- 3)特別会員は中部学院大学・中部学院大学短期大学部教職員

#### 第6条(会員の権限)

会員は本会が主催する事業や学術講演会等に参加する資格を有し、会誌その他の配布を受け、これに投稿することができる。

#### 第7条(退会および除名)

- 1)退会を希望する者は、本会に届け出るものとする。ただし、既納の会費、入会金は返却しない。
- 2)本会の目的に反して、本会の運営を妨げ、または本会の名譽を著しく損なう行為のあった場合は、評議員会の議決によりこれを除名することができる。

### 第4章 役員、運営委員、評議員など

#### 第8条(役員)

- 1)本会に名誉会長2名、会長1名、副会長2名(大学1名・短期大学部1名)、監事2名及び運営委員若干名を置く。
- 2)名誉会長は中部学院大学学長及び中部学院大学短期大学部学長とする。

#### 第9条(役員の任期)

- 1)役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2)役員に欠員が生じたときは役員の補充を行うが、その任期は前任者の残任期間とする。

#### 第10条(役員の職務、権限)

- 1)会長は本会を代表し、会務を統括する。
- 2)会長は、運営委員会を開き議長となる。
- 3)副会長は会長を補佐し、事故あるときはその職務を代行する。
- 4)監事は運営委員会に出席し、本会の運営と経理会計を監査する。
- 5)運営委員は、運営委員会を構成し、会務を企画執行する。
- 6)名誉会長は運営委員会に出席することができる。

#### 第11条(役員、運営委員の選任)

- 1)運営委員は評議員の中から会長が指名し、評議員会の承認を得る。
- 2)会長と監事は運営委員の互選とする。
- 3)副会長は会長が評議員の中から指名し、評議員会の承認を得る。

#### 第12条(評議員の選任・交代)

- 1)評議員は卒業年次に学科ごと1名を互選する。
- 2)評議員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 3)評議員は評議員会を構成し、運営委員を選出する。
- 4)評議員の交代は細則の定めるところによる。

#### 第13条(顧問)

- 1)本会に顧問2名(大学1名、短期大学部1名)を置くことができる。
- 2)顧問は会長の要請があるときは評議員会、運営委員会に出席して意見を述べることができるが、採決には加わらない。
- 3)顧問の任期は2年とし、再任は妨げない。
- 4)顧問は運営委員会で推薦し会長が委嘱する。

#### 第14条(幹事)

- 1)本会に幹事2名を置く。
- 2)幹事の任期は2年とし、再任は妨げない。
- 3)幹事は会務を補佐する。
- 4)幹事は運営委員会の議を経て、教職員の中から会長が委嘱する。

#### 第15条(教職員同窓会事務局)

- 1)本会に教職員同窓会事務局を置く。
- 2)教職員同窓会事務局は、現職の同窓生教職員をもって組織する。
- 3)教職員同窓会事務局には、委員長1名、副委員長1名、総務委員2名、広報委員2名、事業委員2名及びキャリア支援委員2名を置く。
- 4)任期は2年とし、再任は妨げない。
- 5)教職員同窓会事務局は、本会の同窓会事業を支援する。
- 6)教職員同窓会事務局の委員は運営委員会の議を経て、常勤教職員の中から会長が委嘱する。

### 第5章 会 議

#### 第16条(総会)

本会の総会の開催は、評議員会において定める。ただし、会員の10分の1以上から要望がある場合は、総会を開かなければならない。

#### 第17条(運営委員会)

- 1)本会は、企画執行機関として運営委員会を置く。
- 2)運営委員会は、第8条1項に掲げる役員、第15条3項に掲げる委員及び会長が指名する者をもって組織する。
- 3)運営委員会は会長がこれを召集する。
- 4)運営委員会においては、会長が議長となり、本会の事業を企画し、必要な一切の事項を審議し運営する。

#### 第18条(評議員会)

- 1)本会は、議決機関として評議員会をおく。
- 2)評議員会は、第8条1項に掲げる役員、第12条に掲げる評議員及び第15条3項に掲げる委員をもって組織する。
- 3)評議員会は会長がこれを召集する。
- 4)評議員会においては、会長が議長となり、本会の重要事項を審議する。
- 5)評議員会の議事は出席評議員(委任状を含む)の過半数の同意で定める。
- 6)評議員会は、会長がこれを召集し、毎年1回開催するものとする。但し必要に応じて臨時に開催することができる。
- 7)評議員会において議決された事項は、必要に応じ会員に報告しなければならない。

### 第6章 委 員 会

#### 第19条(委員会)

- 1)会長は必要に応じ、運営委員会の議を経て所定の問題に関する委員会を置くことができる。
- 2)委員会は委員長1名、委員若干名をもって構成する。
- 3)委員長および委員は会長が委嘱する。

### 第7章 同窓会支部

#### 第20条(地域支部・認定支部)

- 1)本会に地域支部及び認定支部を置くことができる。
- 2)地域支部及び認定支部の設立は設立申請書を会長に提出し、運営委員会で審議の上、評議員会の承認を得なければならない。
- 3)同窓会支部の細則については別に定めるものとする。

### 第8章 会 計

#### 第21条(本会の経費)

- 1)本会の運営及び事業に必要な経費は入会金、会費、事業費、寄付金その他の収入をもってあてる。
- 2)会費は次の通りとする。会費は前納とする。

入会金	10,000円(入学時納入)
会 費	20,000円(卒業年度納入)
- 3)既に正会員の資格を有する者は、入会金及び会費の納入を免除する。
- 4)旧教職員で準会員を希望する者

入会金	10,000円(退職時納入)
-----	----------------
- 5)特別会員は、会費の納入を免除する。
- 6)事業費は、事業毎に運営委員会で決定する。

#### 第22条(会計年度)

本会の会計年度は4月1日より次年の3月31日までとする。

### 第9章 慶事・弔事

#### 第23条(慶事・弔事)

慶事・弔事に対しては事務局保管の内規に定めるところによる。

### 第10章 会則の改正

#### 第24条(会則の改正)

本会則を改正するには評議員会において出席者の過半数の承認を得なければならない。

### 付 則

本会則は平成25年11月23日から発効する。

### 細 則

#### 第1条(評議員の交代)

評議員の交代は、同卒業年次・学科の正会員から会長が指名し、評議員会の承認を得る。

#### 第2条(評議員会への出席)

選任された評議員は、評議員会に学年・学科代表として出席する。

#### 第3条(書記・経理会計)

書記・経理会計は運営委員が担当する。

## 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 同窓会支部細則

### 第1条

この細則は、中部学院大学・中部学院大学短期大学部同窓会会則第7章にもとづき、同窓会支部(地域支部と認定支部)について定めるものとする。

### 第2条

地域支部は、原則として都道府県を単位として組織するものとする。

- 2)地域支部の結成は、支部規約、代表者の所在地、役員の氏名、会員名簿及び支部結成経過を同窓会長に申請して認定を受けなければならない。
- 3)地域支部は、支部規約(制定されている場合)、役員の氏名及び会員名簿を変更した場合、同窓会長に届け出るものとする。

### 第3条

- 認定支部はゼミ、サークル、卒業年度別のOB会および職域団体の同窓生グループを単位として組織するものとし、構成人数は10人以上とする。
- 2)認定支部の結成は、支部規約、代表者の所在地、役員の氏名、会員名簿及び、支部結成経過を同窓会長に申請して認定を受けなければならない。
- 3)認定支部は、支部規約(制定されている場合)、役員の氏名及び会員名簿を変更した場合、同窓会長に届け出るものとする。

## 中部学院大学・中部学院大学短期大学部同窓会 同窓会支部活動費補助規程

(目 的)

#### 第1条

本規程は、中部学院大学・中部学院大学短期大学部同窓会(以下「本会」という)が設置した同窓会支部の活動を一層推進するため、活動費補助の交付について必要な事項を定める。

(対 象)

#### 第2条

活動費補助の対象は本会に登録した同窓会支部(地域支部、認定支部)とする。

(補助金の基準額)

#### 第3条

活動費補助の内容は、同窓会支部の開催案内状郵送費、同窓会支部の運営、特色ある事業及び同窓会報への原稿提供とする。

- 2)同窓会支部の開催案内状郵送費に対する補助額は、次の通りとする。ただし、案内状に代えて新聞等で案内広告を掲載する場合は、30,000円を上限として交付する。

① 発送件数が100件以内	5,000円
② 発送件数が101～200件	10,000円
③ 発送件数が201～300件	20,000円
- 3)同窓会支部の運営に対する補助額は次の通りとする。
  - ①施設利用料については請求額の50%を上限として交付する。ただし、その補助額については20,000円を上限とする。
  - ②プロジェクター等、機器を使用した場合は請求額の50%を上限として交付する。ただし、その補助額については10,000円を上限とする。
  - ③その他、特に同窓会長(以下「会長」という。)が必要と認めたものについては、請求額の50%を上限として交付する。ただし、その補助額は、30,000円を上限とする。
- 4)特色ある事業に対する補助額は、次の通りとする。
  - ①一般市民及び同窓生を対象とした講演会又は公開講座等の講師謝礼については、中部学院大学の支出基準にこれを準用する。
  - ②パンフレット等の印刷費及び施設利用費並びにプロジェクター等、機器を使用した場合は、請求額の50%を上限として交付する。ただし、その補助額については30,000円を上限とする。
  - ③事業の案内状郵送費及び新聞等への案内広告の掲載については、本条第2項と同様とする。
- 5)同窓会報への原稿提供に対する補助額は、次の通りとする。
  - ①同窓会支部の活動を同窓会報へ投稿された場合は10,000円を上限として補助する。

(申 請)

#### 第4条

活動費補助の交付を受けようとする同窓会支部は、別に定める交付申請書を事業実施の3週間前までに会長に提出しなければならない。

(交付の決定)

#### 第5条

前条の規定により交付申請書の提出があったときは、同窓会事務局にて内容を審査し補助金交付の可否を会長が決定する。

- 2)同窓会事務局は、前項の規定により補助金交付を決定したときは、速やかに当該同窓会支部に通知しなければならない。

(実施報告書の提出)

#### 第6条

本規程第3条により交付の決定を受けた同窓会支部は、別に定める実施報告書を2週間以内に会長に提出しなければならない。

(補助金の交付)

#### 第7条

補助金の交付は、実施報告書が提出された後、現金または口座振込にて行う。

- 2)交付を受けた同窓会支部は、会長に対し所定を受領書を提出しなければならない。
- 3)補助金の交付は原則として年1回とする。ただし会長が必要と認めたときは、この限りではない。

### 第4条

同窓会支部を結成し、支部活動を行ったときは、その活動に要した費用の一部を補助することができる。

- 2)前項の補助額に対しては内規に定めるところによる。

### 第5条

同窓会支部が行う定期総会について、その補助申請があった場合は、年1回、補助金及び案内発送業務、返信用ハガキを提供することができる。

また、支部が行う定期総会に教職員を派遣する場合は、年1回、その会の会費相当額および旅費を本部が負担することができる。

### 第6条

同窓会支部が行う定期活動について、その補助申請があった場合は、年1回、補助金および案内発送業務、返信用ハガキを提供することができる。

(改 廃)

#### 第8条

会長は、補助金の交付を受けた同窓会支部に対し、前条に定める実施報告書の内容に虚偽があった場合は補助金の全部または一部を取り消すことができる。

- 2)前項により補助金を取り消す場合は、会長は当該同窓会支部に対して文書で通知しなければならない。
- 3)補助金を取り消された同窓会支部は、前項に規定する文書を受取ってから1週間以内に補助金を返金しなければならない。

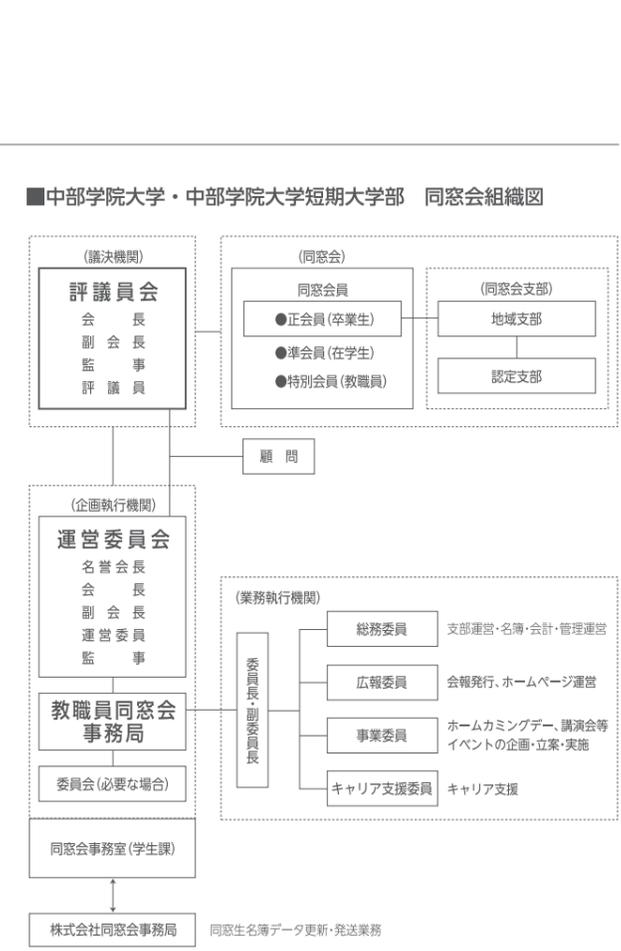
(改 廃)

#### 第9条

本規程の改廃は、運営委員会の議を経て評議員会にて行う。

附 則

本規程は、平成25年(2013)年11月23日から実施する。



## ■住所変更届けのお願い

同窓会では、同窓会報などの配布のため同窓生の皆さんの住所の把握に努めています。住所変更などの連絡は、株式会社同窓会事務局にお願いします。

TEL 0120-10-9899 (平日10:00～16:00)

FAX 0120-10-9184

QRコードでも  
住所変更などができます。  
メッセージもお寄せください!



同窓生のデータは、個人情報保護を最優先として、プライバシーマーク取得の専門会社 株式会社同窓会事務局(東京都足立区舎人3-11-26)にデータ管理を委託しています。